



「こんにちは 市長です」

7月1日号

毎日とはいかないけど、日の暮れるころ、あちこち散歩している。朝型の人が多いかもしれないが、着替えがあったりシャワーがあったりするのが面倒なので夜型になる。どこを何kmくらい歩くということは決めない。運動公園のトリムコースが人気であるの辺りに行くといつでもいっばいの状態である。「トリムコースを作りたい」と思ったのは熊谷の運動公園を幾度か歩いてのことだ。信号にはぶつからない、車は走らない、チップで舗装されていて足に負担がかからない。健康志向が強くなって狙いが的中したわけである。けれども、私はまちの中を歩く。こんなことがあった。家から東中を抜けて354バイパスを西に向かった。歩道がしっかりしている。「市長さん、大丈夫??」すれ違いの車から声を掛けられた。「ウォーキングですか。ならいいんですけど、部屋空いていますよ」。高齢者施設の施設長だった。要らぬおせっかいである。いなり幼稚園から尾島近くまで行って歩くのが苦痛になった。牛沢まで戻って「助けてえ！」と知り合いの会社に飛び込んだ。懲りずに刀水橋へ、帰りは古戸の神社までたどり着いて近所の職員に救助を求めた。牛沢コースと刀水橋コースは終わった。駅前を通り抜けて八瀬川沿いから呑龍様までのコースを使うこともある。街並みの変化を感じながらだから、距離はあるが自力で家にたどり着くことができる。イオンに向かうコースも悪くはない。

丸首のシャツに綿パン、今は半パンで出掛ける。背丈がないので見栄えしないのは承知しているが気分は若者である。役所の職員でサンダース応援ポロシャツを作るという。大賛成で、黒・白・黄色の3色注文した。「若々しく見えるね」と言ってもらえそうな気がする。職員も着るので、見て気に入ったら買ってください。(6/17記)